

協議資料： 市塙・赤羽工業団地線の廃止について

令和8(2026)年 1 月 26 日（月）
栃木県地域公共交通活性化協議会
生活交通対策部会分科会事務局
（栃木県県土整備部交通政策課）

1. 本分科会における協議の申出内容
2. 協議対象路線の概要
3. 協議に至るまでの経緯
4. 沿線市町村の路線存続意向・生活交通確保方策

補足：JR宇都宮駅東側のバス路線について

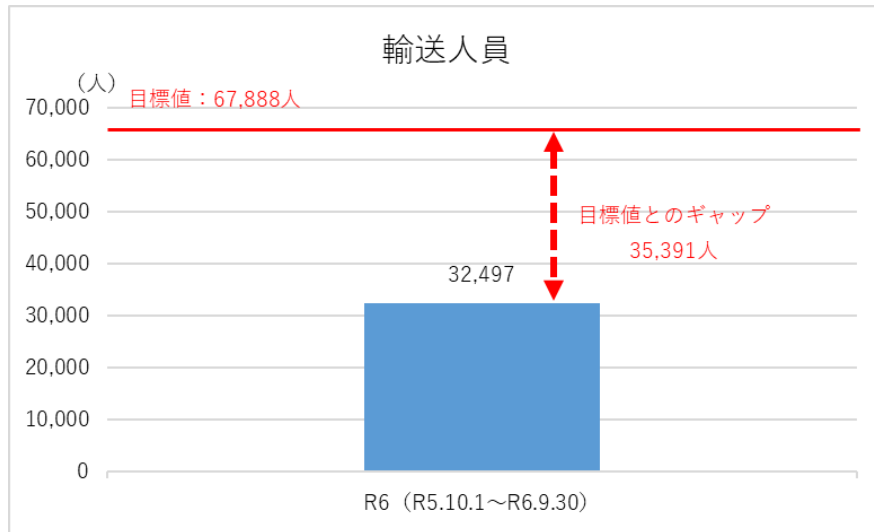
JR宇都宮駅東側のバス路線に係るスケジュール

1. 本分科会における協議の申出内容

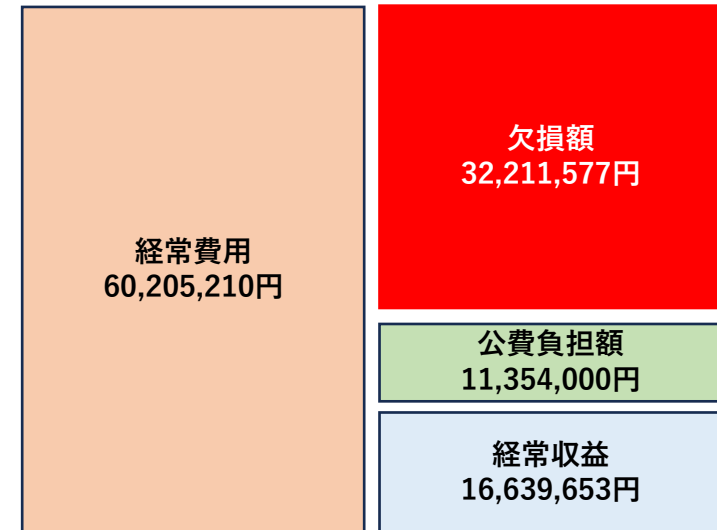
【協議申出人】	ジェイアールバス関東株式会社（申出日：令和 7 (2025) 年 9 月 17 日）
【協議申出対象路線】	市塙・赤羽工業団地線（清原地区市民センター前発着、芳賀町工業団地管理センター前発着） 運行区域：宇都宮市、芳賀町、市貝町
【協議の申出内容】	路線の廃止（廃止予定：令和 8 (2026) 年 4 月 1 日）
【協議の申出理由】	「運行開始当初より利用者数は伸び悩んでおり、収支状況は厳しく、関係自治体に支援拡大を求めてきたところであるが、「栃木県生活バス路線維持費補助制度以上の補助金拠出はできない」との回答があったことから、今後の運行継続は困難と判断したため」



2. 協議対象路線の概要 — 運行状況 —



	R6 (R5.10.1~R6.9.30)
目標値	67,888人
輸送人員 (実績値)	32,497人



	R6 (R5.10.1~R6.9.30)
経常収益	16,639,653円
経常費用 〔 事業者キロ単価に 実車走行キロを乗じたもの 〕	60,205,210円
公費負担額 (県と市町の補助額の合計)	11,354,000円
欠損額 (経常費用－経常収益－公費負担額)	32,211,577円

※ 協議にかかる4系統の合計

※ 栃木県生活バス路線維持費補助金交付申請書（ジェイアールバス関東株式会社提出）を基に、事務局で表作成

※ 公費負担額については、栃木県生活バス路線維持費補助金交付要領に基づき算出

3. 協議に至るまでの経緯

H30 (2018)～
R4 (2023)

- ジェイアールバス関東(株)及び沿線市町が芳賀・宇都宮LRT開業に伴うバス路線再編について協議

R5 (2023)

- R5.8.26 芳賀・宇都宮LRT開業に伴い、新規自主路線として「市塙・赤羽工業団地線」開業

R6 (2024)

- 「栃木県生活バス路線維持費補助要綱」に基づき、栃木県及び沿線市町（宇都宮市、芳賀町、市貝町）による協調補助を開始
- ジェイアールバス関東(株)は、栃木県及び沿線市町に上記協調補助に加えた上乗せ支援を要望
 - 沿線市町からは運行効率化の具体案が提示されたが、ジェイアールバス関東(株)が精査したところ、収支改善につながらないことが判明

R7 (2025)

- R7.6 ジェイアールバス関東(株)が沿線市町に対し上乗せ支援を再度要望
 - 沿線市町は、引き続き「栃木県生活バス路線維持費補助要綱」に基づき支援していく旨回答
- R7.9.17 ジェイアールバス関東(株)が当該路線の廃止を申出
- R7.10.16 栃木県から沿線市町へ路線存続意向照会
 - 沿線市町は地域公共交通会議(※)で協議の上、路線存続意向回答
 - ※市貝町…10/30、宇都宮市…12/1、芳賀町…12/10

4. 沿線市町の路線存続意向・生活交通確保方策

沿線市町の意向

- ・ 栃木県生活バス路線維持費補助金を超える財政支援はできない。
 - ・ 既存の公共交通手段の活用等で、現在の利用者の生活交通を確保することができる。
- ⇒ よって、市塙・赤羽工業団地線の存続意向はない。

	意向	生活交通の確保方策
宇都宮市	<ul style="list-style-type: none">・ 本市域における当該路線の運行ルートは、既存公共交通（清原さきがけ号）のカバー圏域であるため、生活交通として不可欠と判断しない。	<ul style="list-style-type: none">・ 清原さきがけ号（地域内交通）
市貝町	<ul style="list-style-type: none">・ 町の運行するデマンドタクシー事業のエリア拡充を行うことで、利用者の交通手段が一定の水準にて確保されるものとする。	<ul style="list-style-type: none">・ サシバふれあい号（市貝町デマンドタクシー）の芳賀TC延伸便の路線を一部変更（赤羽工業団地を經由）
芳賀町	<ul style="list-style-type: none">・ 路線廃止はやむを得ないものと考えており、右の代替手段による対応を予定している。・ これらの代替手段の実施及び利用者の周知、誘導により当該路線の町内利用者の利便性については一定の確保が可能なものと考えられることから生活交通として不可欠とは判断しない。	<ul style="list-style-type: none">・ ふれあいタクシーひばり（芳賀町デマンドタクシー）・ 乗合タクシー実証運行内容の拡充・ サシバふれあい号（市貝町デマンドタクシー）

補足：JR宇都宮駅東側のバス路線について

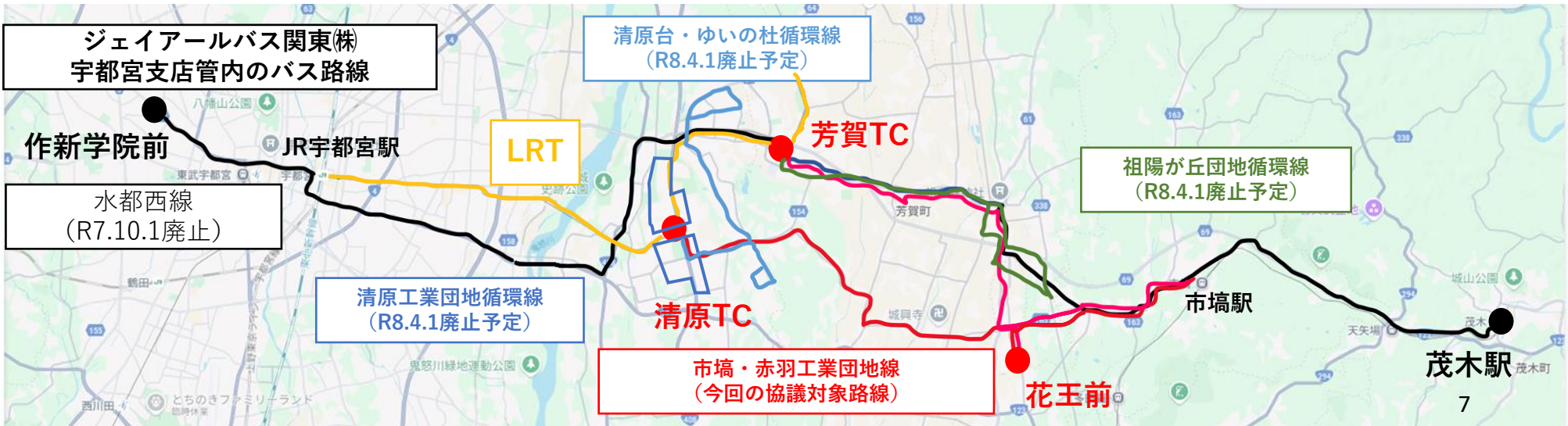
【概要】

- JR宇都宮駅東側のバス路線については、R7.10.1に廃止された水都西線のほか、宇都宮市内の清原工業団地循環線及び清原台・ゆいの杜循環線、芳賀町内の祖陽が丘団地循環線についても各市町地域公共交通会議で協議の上、R8.4.1廃止の方向性が決定している。

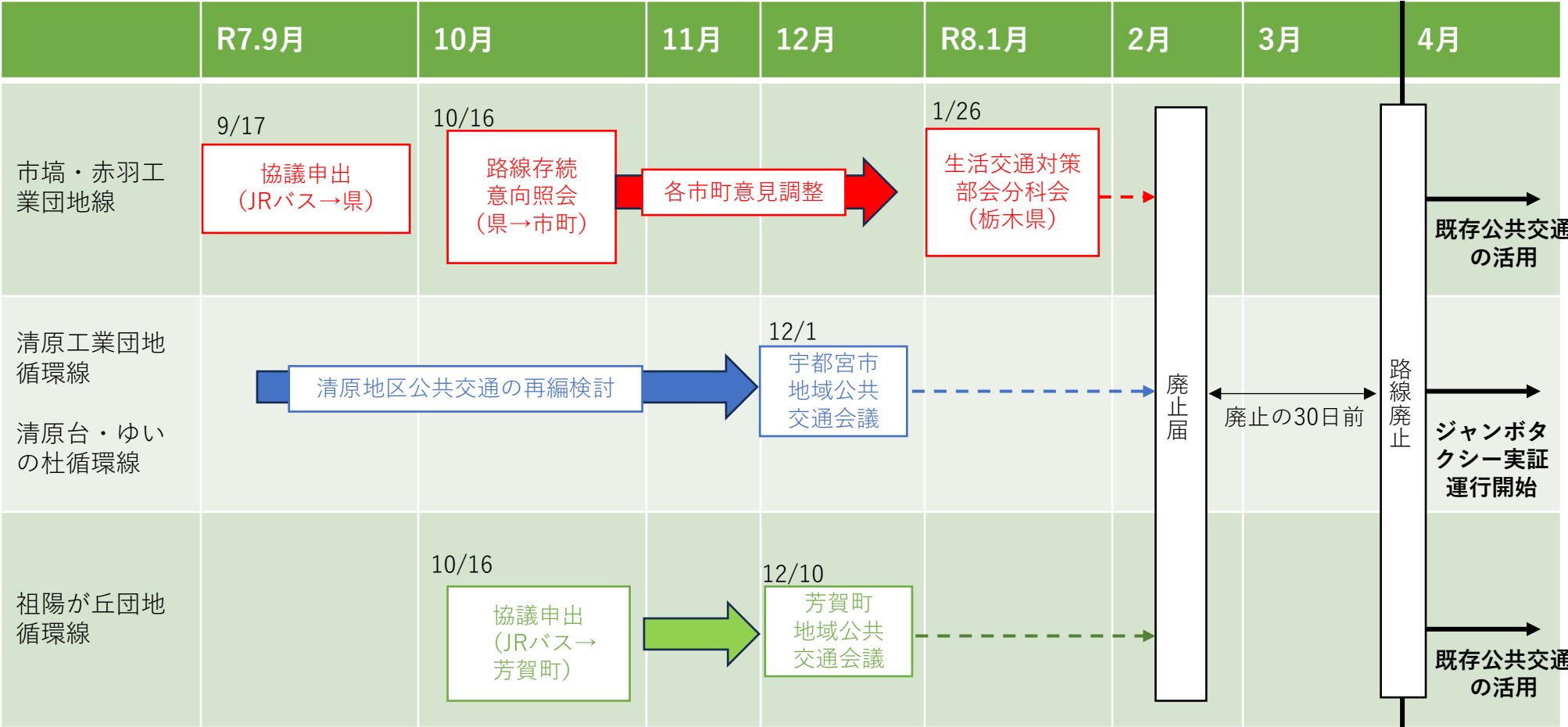
路線概要	経緯	廃止後の対応
水都西線	茂木町、市貝町、芳賀町が赤字全額を補填していた。 R7.7.25生活交通対策部会分科会（県）で協議の上、R7.10.1廃止。	芳賀TCへ接続するデマンド交通を拡充
清原工業団地循環線 清原台・ゆいの杜循環線	宇都宮市が赤字全額を補填。利用者数に応じた最適化を検討し、 R7.12.1宇都宮市地域公共交通会議で協議の上、R8.4.1廃止予定。	ジャンボタクシーの実証運行の実施
祖陽が丘団地循環線	芳賀町が赤字全額を補填。利用者が少なく、路線収支が改善されず、町の財政支出が大きいことから継続困難であり、 R7.12.10芳賀町地域公共交通会議で協議の上、R8.4.1廃止予定。	既存の町内デマンド交通等でカバー

【今後の方針】

- 各市町の代替手段の利用状況を把握するとともに、広域的な公共交通ネットワークのあり方について、引き続き、栃木県と関係市町とで検討をしていく。



補足：JR宇都宮駅東側のバス路線に係るスケジュール



※補足

- 市塙・赤羽工業団地線については、市町村の行政区域を跨ぐ路線であるため、県の生活交通対策部会分科会において協議
- 清原工業団地循環線及び清原台・ゆいの杜循環線は、宇都宮市内のみを運行する路線であるため、路線廃止については市が公共交通を再編検討の上で、市の地域公共交通会議で協議
- 祖陽が丘団地循環線は芳賀町内のみを運行する路線であるため、路線廃止についてはジェイアールバス関東株式会社からの申出を受け、町の地域公共交通会議で協議